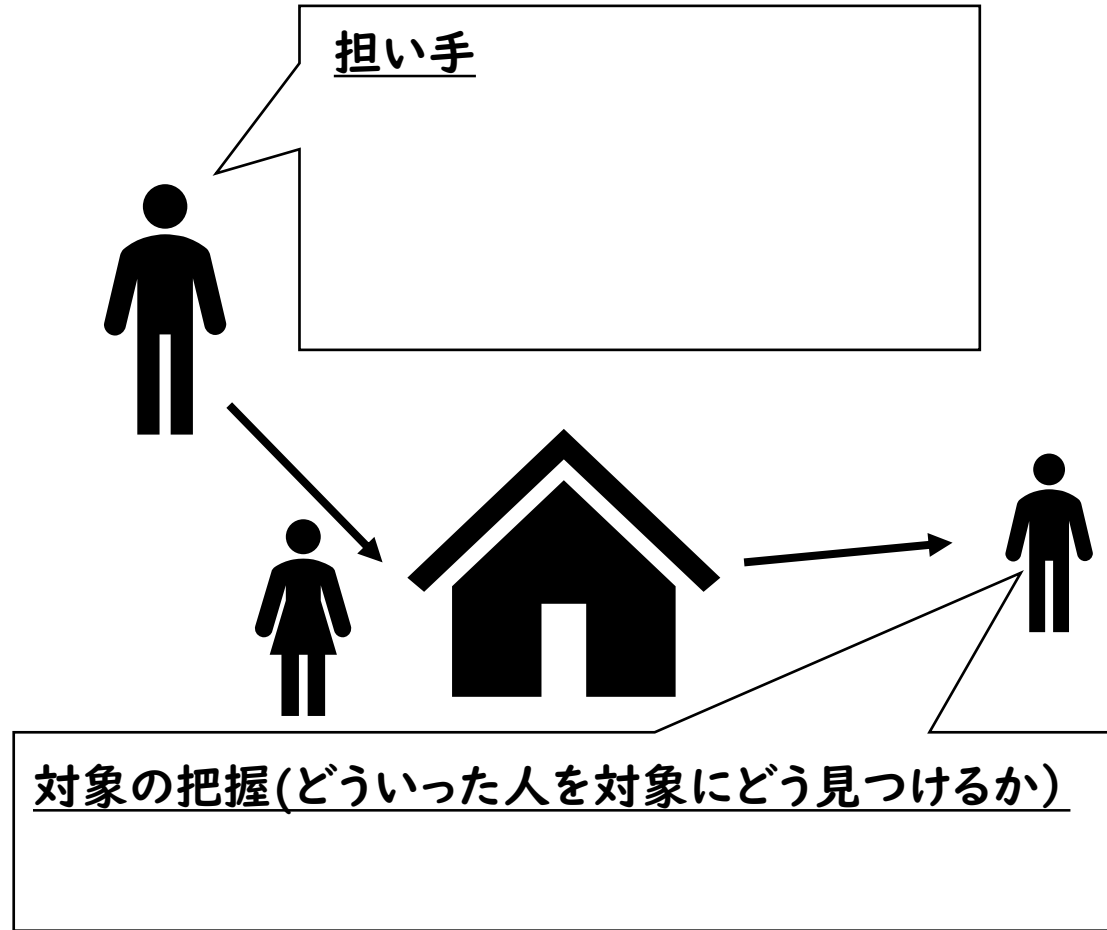


令和4年5月17日(火)

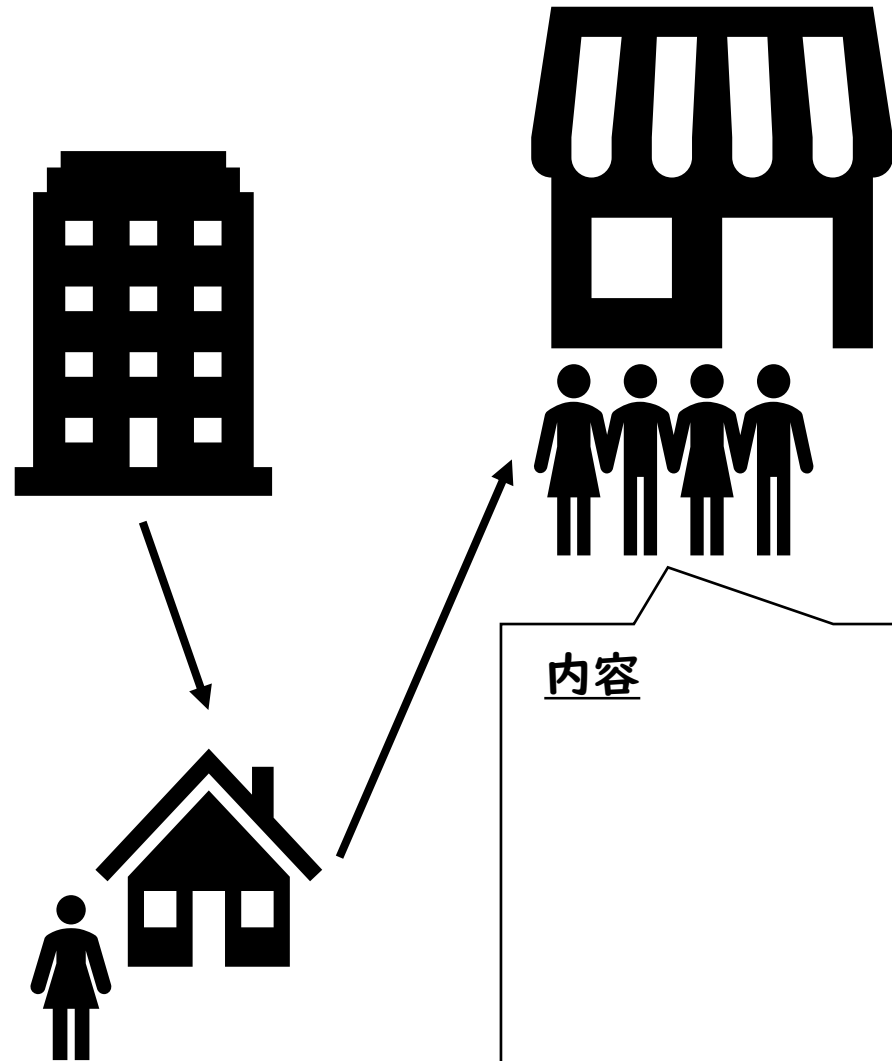
13:30~15:00

第2層協議体(日本橋) ワークシート

① 仲間と一緒に出掛ける仕組み♪



近所にお住まいのお友達に声を掛けながら「はまるーむ」(目的地)を目指すことで場へ参加するハードルが下がる!?



②仲間と一緒に出掛ける仕組み♪

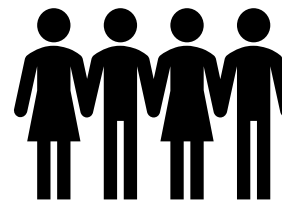
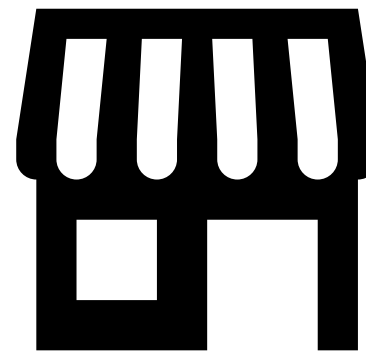
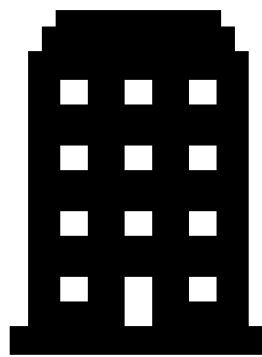
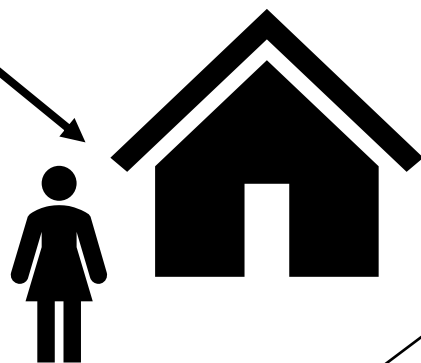
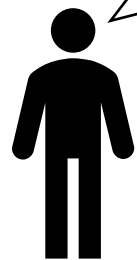
場所

見守る場所→お店

説明会の場所→はまるーむなど公益性の高い施設

担い手

お店、商店、自分
対象者も担い手に
⇒支え支えられる関係へ



対象の把握(どういった人を対象にどう見つけるか)

高齢者、子ども、地域住民(多世代)

⇒**気軽に**立ち寄れる場所

※情報の届け方が課題!?(SNS等の活用)

内容

見守り、居場所

※特別なプログラムはない。
⇒保護者等への説明会が必要

顔の見える関係を取り戻そう!

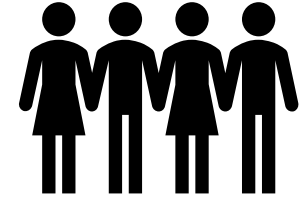
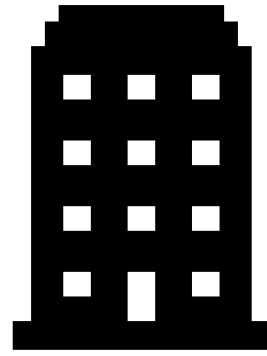
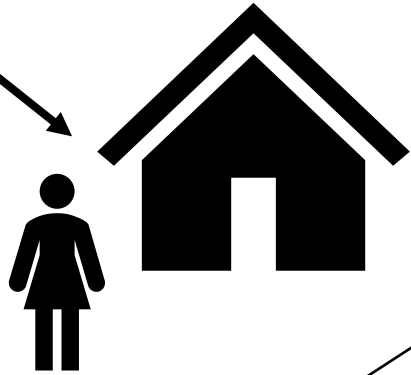
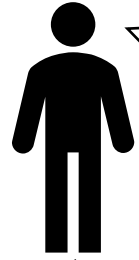
③ 仲間と一緒に掛ける仕組み♪

場所

はまる一む、お店

担い手

手先の器用な地域の高齢者
⇒ やりがいや交流



対象の把握(どういった人を対象にどう見つけるか)

お店に来店された子育て世帯

内容

高齢者の作ったヨダレ拭きやハンカチ
を来店、来所された方へプレゼント
⇒ お店の特徴を活かした多世代交流



④仲間と一緒に出掛ける仕組み♪

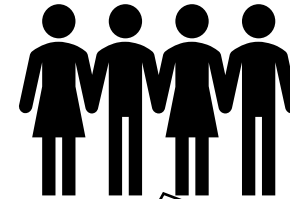
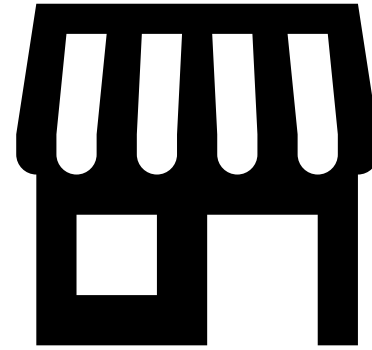
場所

各郵便局(毎月転々とする)
⇒場所を目的にするのも有効

担い手

絵が得意な方など・・・
本人、友人、家族

制限を設けない

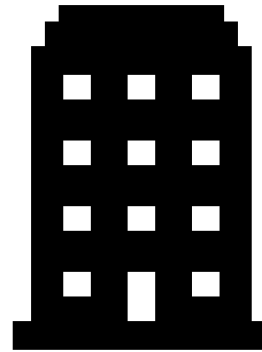


内容

内容はざっくりばらんに
気軽に参加できるもの
例)絵手紙教室

対象の把握(どういった人を対象にどう見つけるか)

郵便局範囲にお住まいの高齢者を対象にする
⇒範囲を狭める、気軽に参加がポイント
=参加のハードルがさがる



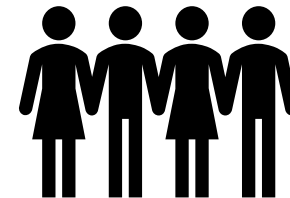
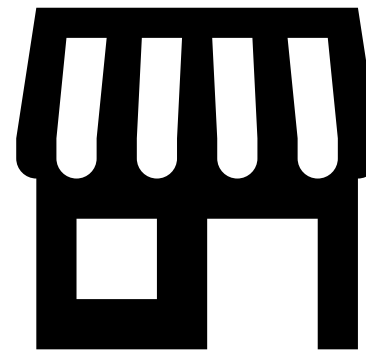
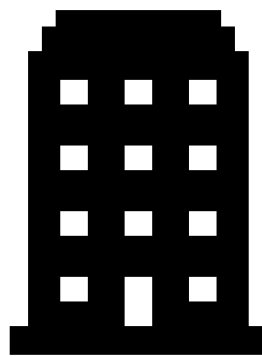
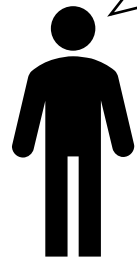
⑤ 仲間と一緒に出掛ける仕組み♪

場所

はまる一む、浜町公園(野外)

担い手

2層協議体/ケアマネ/包括
⇒話し合いの機会を設ける



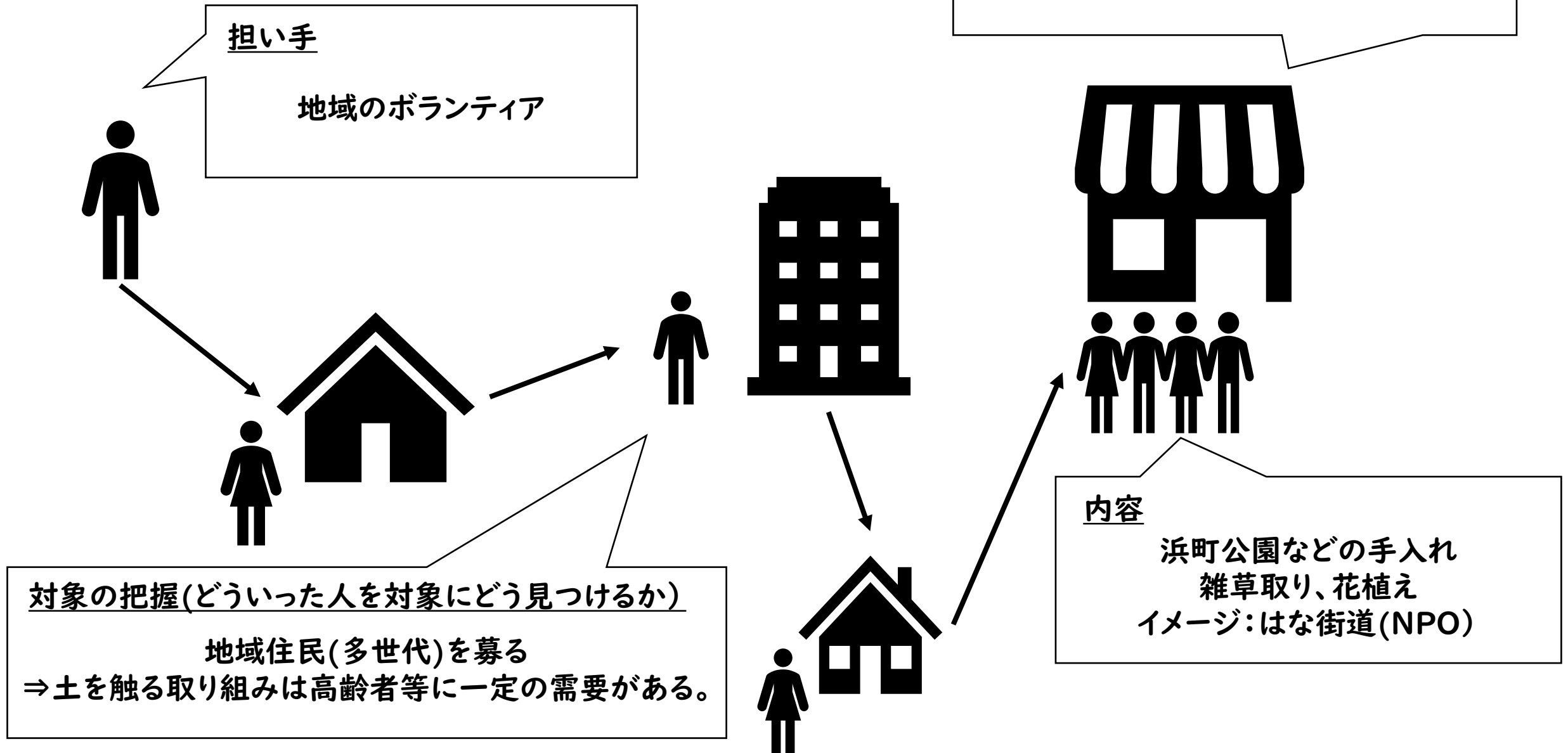
対象の把握(どういった人を対象にどう見つけるか)

ひとり暮らし高齢者/車椅子利用者/介助が必要な方
⇒外出することが億劫になっている方

内容

ものづくりや体操など
⇒**気軽に**できることを実施し、地域の憩いの場として運営する。時間的な制限等は設けず、フラッと立ち寄り自由に出入りできるような場とする。

⑥ 仲間と一緒に掛ける仕組み♪



主な意見



- ・対象者も担い手になる「支え支えられる関係」が築けると良い
- ・誰もが気軽に立ち寄れる地域の居場所が求められる
- ・参加のハードルを下げるために対象エリアを狭めることも検討すると良い
- ・高齢者が場に参加するうえで様々な「制限」を設けないことが大切
- ・「目的」があると参加の動機付けになる。例) 来所者にお土産があるなど・・・
- ・公的施設でない建物を会場にする際にその場所や活動、取り組みの信頼度を高める工夫が求められる